

業者様も含め、お香に慣れてない方は、**特に**注意して下さいネ～。

- ①熱(直射日光・エアコンの風等)を避ける。熱や乾燥で香料が揮発します。
- ②乾燥(風通しの良い場所・エアコンの風等)を避ける。乾燥で香料が揮発します。
- ③高温多湿・寒暖差が激しい場所を避ける。結露でカビの恐れがあります。

\*冬場は特に注意。昼はポカポカ暖まり、夜はガチガチ寒くなり、次の日は、また↓弊社の注意書です。**密封して冷暗所に置くのが、ベター…。(※自己責任)**

## ⚠ 注意 必ずお読み下さい!!

☆この注意書きは、すぐに読める場所に保管してください。

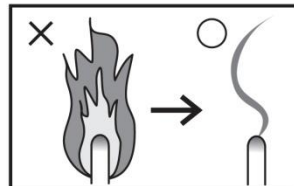
●お子様など、責任や判断能力が十分でない方は、必ず保護者の方と一緒に使って下さい。●食べ物ではありません。口などに入れたりしないでください。●お香に火をつけたら、必ず炎を完全に消して、専用の受け皿にセットして下さい。お香全体が激しく燃え続け、危険です。(右図参照)●お香に火をつける際やお香を焚いてる間、まれにお香の先端部分の落下や飛散、熱をもった灰が受け皿の外にこぼれることがあります。受け皿を大きめの不燃性トレーにのせて使うことをオススメします。●お香を焚いてる間は、絶対にそばをはなれないで下さい。はなれる時・災害時・ねる時などは、必ず火を消して下さい。●次の①～⑤にあてはまる場所などでは、使用・保管しないで下さい。①お子様やペットなどの手などが届くおそれのある所。②火がつきやすい・燃えやすいものや、ヤニ・ニオイがつきやすいものが近くにある所。(フトンや衣類・カーテンなどは、この両方に当てはまります)③高い・不安定・風があるなど、落ちたり、倒れたりする可能性がある所。④高温多湿や直射日光など、カビや変質の恐れがある所。⑤熱や香料にふくまれる油分で、変色・変質する材質(紙・布・木材製品・漆器・樹脂など)の上や近く。\*油分が包装や箱の外までニジミ出てくる場合があります。●お香や包装・箱の油分が肌につくと、かぶれることがあります。ご注意下さい。●焚いてる間は、受け皿を動かさないで下さい。●お香の煙を大量に吸い込むと、健康を損なう恐れがあります。換気を十分にしてください。●香りの感じ方には個人差があります。合わないと感じたり、気分が悪くなった場合は、ただちに使用を中止してください。●火がつきにくかったり、立ち消える場合は、ドライヤーなどで乾燥させてください。●煙が消えても、お香の中に火種が残ったりします。火が完全に消えて、熱がないことをチェックしてから、燃えガラや灰を捨ててください。●一度に複数をお香を焚く、連続して焚くなど、受け皿に熱がこもる原因となる行為は、危険ですのでおやめ下さい。受け皿に熱がこもりましたら、冷ましてからご使用ください。●香りがとんでしまわないよう、密封して保管しましょう。●右図を参考に、お香部分(※)が受け皿にふれないようにしてください。●芳香用途以外には使わないで下さい。●製造時の気候条件や製造ロットごとに多少、香りが異なります。あらかじめ、ご了承ください。●お香に触れたら、必ず洗いましょう。顔など皮膚の弱い場所は、かぶれる恐れがあります。万一、アレルギー反応が出たら、お医者さんに行きましょう。

★かなり改善されてきましたが、製造地(インド)との文化慣習の違いにより、稀に髪の毛等が混入している場合がございます。ご不快の事と思いますが何卒ご容赦下さいませ。

■原産国:インド ■原材料:竹・木粉等・天然香料・合成香料・着色料・その他

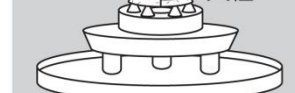
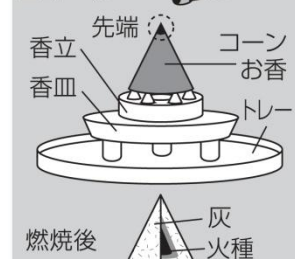
輸入販売元  (有)へもじクラフト TEL 047(469) 1116 CB-1②

注意事項を守らないと火災やケガ・ヤケドなどの原因となります



### 使用例

#### ■コーン



#### ■短い線香



#### ■竹芯香



◎竹芯部分を香皿の穴にセットします。

※お香部分が香皿に接触しないようにしてください  
※トレーはなるべく大きな物をご使用下さい